

令和元年度中学生チャレンジテスト(3年生)の大阪市の結果概要

大阪市教育委員会

○調査実施日
・令和元年6月19日(水)

○学力に関する調査
・国語、社会、数学、理科、英語

○学習状況に関する調査
・生徒アンケート

○調査対象
・中学校第3学年

○実施校数
・130校(473校)

○実施生徒数
・15,488人(63,565人)

※実施校数、実施生徒数、平均点、無解答率の()内の数字は大阪府

中学校3年【国語】

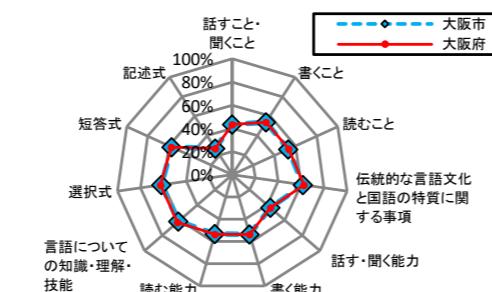
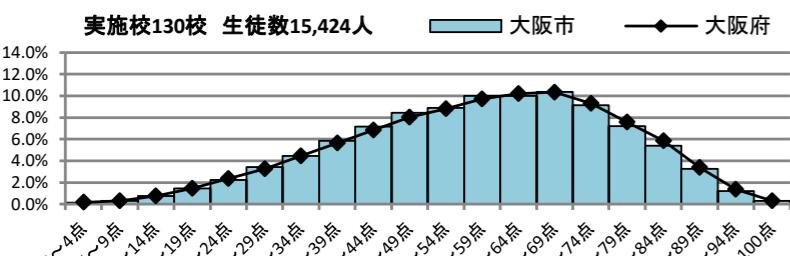
平均点

56.6(57.1)点

無解答率

6.0(6.2)

- 学力の分布は、65~69点を頂点とした山型です。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、良好な結果でした。
- 事実や意見が相手に伝わるように説明や具体例を加えたり、工夫したりして書くことに課題が見られました。



中学校3年【社会】

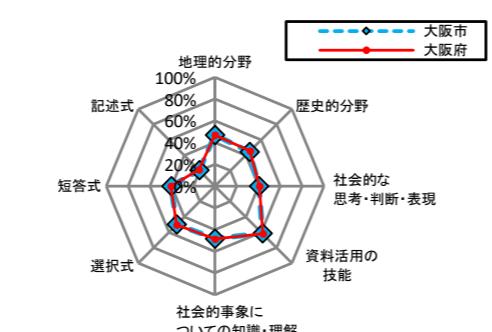
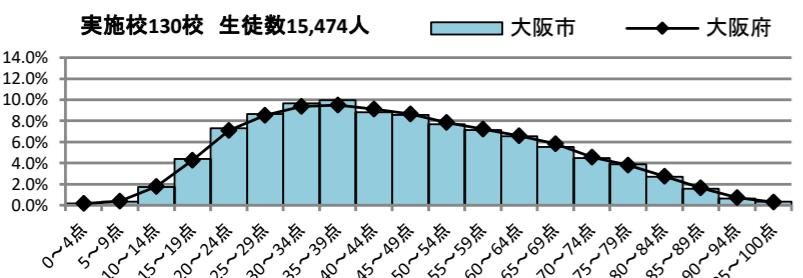
平均点

45.9(46.2)点

無解答率

6.0(6.2)

- 学力の分布は、得点の低い方に寄った山型です。
- 「資料活用の技能」については、良好な結果でした。
- 考察したことを適切に説明することなど、「社会的な思考・判断・表現」や「記述式」について課題が見られます。



中学校3年【数学】

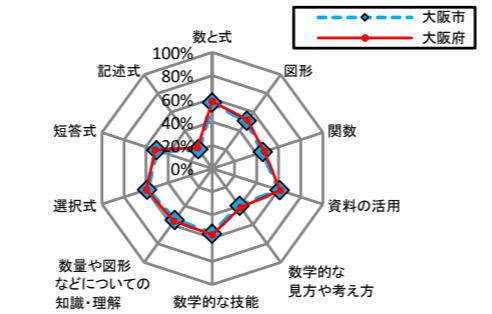
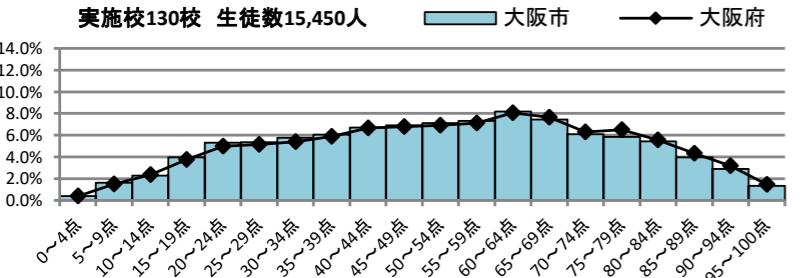
平均点

52.5(53.5)点

無解答率

13.2(13.2)

- 学力の分布は、なだらかな山型です。
- 「資料の活用」については、おおむね良好な結果でした。
- 根拠になるものを明らかにし、筋道を立てて考え、説明することに課題が見られます。



中学校3年【理科】

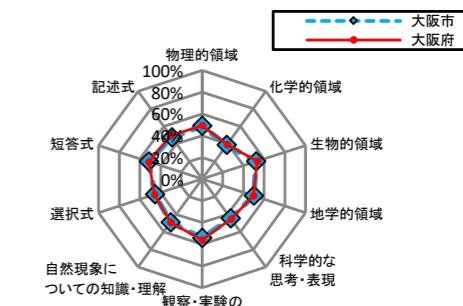
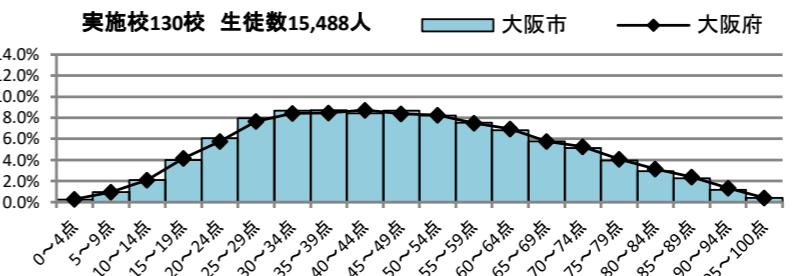
平均点

47.4(47.7)点

無解答率

5.9(6.2)

- 学力の分布は、なだらかな山型です。
- 「生物的領域」については、良好な結果でした。
- 科学的な知識や概念を活用し、観察・実験の結果を分析して解釈すること、に課題が見られます。



中学校3年【英語】

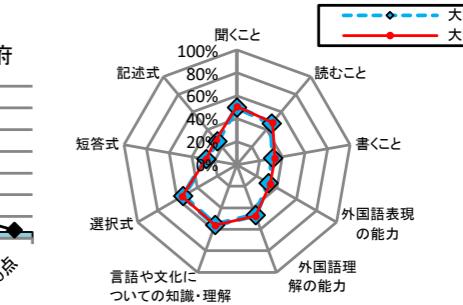
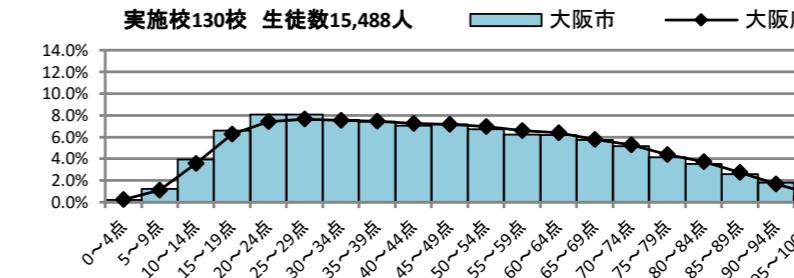
平均点

46.2(47.0)点

無解答率

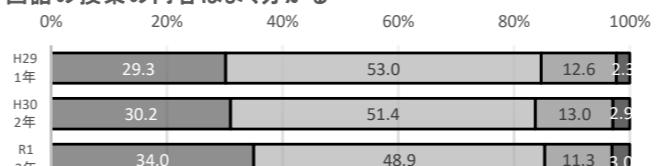
5.4(5.2)

- 学力の分布は、左に寄ったなだらかな山型です。
- 「聞くこと」については、良好な結果でした。
- 正確に情報を読み取り、まとまった英文を書くことに課題が見られました。

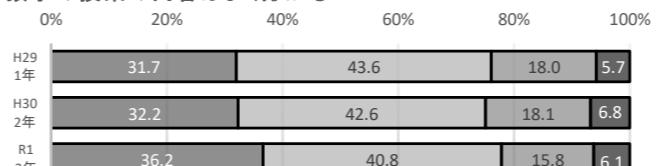


現3年生の中学校3年間におけるアンケート結果

国語の授業の内容はよく分かる

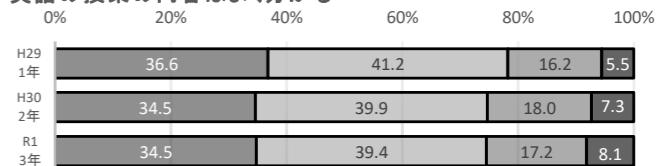


数学の授業の内容はよく分かる

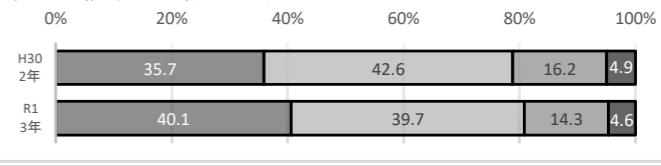


- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

英語の授業の内容はよく分かる



社会の授業の内容はよく分かる



理科の授業の内容はよく分かる



※表記については、大阪府教育委員会の結果概要に準じています。